平成 20 年 7 月 3 日

各 位

会 社 名 マルカキカイ株式会社 代表社名 代表取締役社長 釜江 信次 (コード番号 7594 東証・大証各第一部) 問合せ先 取締役兼常務執行役員管理本部長 森 康明

(TEL 072 - 625 - 6551)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ,平成20年1月10日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 平成20年11月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年12月1日~平成20年5月31日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり
	九工同		が正いらい	— W1 W L J IIII	当期純利益
前回発表予想(A)	21,375	1,213	1,296	719	77 円 23 銭
今回修正予想(B)	26,997	1,245	1,372	756	81 円 39 銭
増 減 額 (B - A)	5,622	32	76	37	-
増 減 率(%)	26.3	2.6	5.9	5.1	-
前期(平成19年11月中間期)	21,020	1,003	1,156	598	64 円 93 銭
実績					

2 平成20年11月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年12月1日~平成20年5月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり
					当期純利益
前回発表予想(A)	15,500	753	975	585	62 円 84 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	20,963	875	1,125	679	73 円 07 銭
増 減 額 (B - A)	5,463	122	150	94	-
増 減 率(%)	35.2	16.2	15.4	16.1	-
前期(平成19年11月中間期)	14,693	610	825	463	50 円 23 銭
実績					

3 平成20年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年12月1日~平成20年11月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり
					当期純利益
前回発表予想(A)	47,380	2,458	2,605	1,423	152円85銭
今回修正予想(B)	50,000	2,215	2,420	1,330	143円65銭
増 減 額 (B - A)	2,620	243	185	93	-
増 減 率(%)	5.5	9.9	7.1	6.5	-
前期(平成19年11月期)実績	45,978	2,390	2,565	1,309	141円45銭

4 平成20年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年12月1日~平成20年11月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり
					当期純利益
前回発表予想(A)	35,500	1,627	2,090	1,254	134円70銭
今回修正予想(B)	40,000	1,620	2,120	1,280	138円25銭
増 減 額 (B - A)	4,500	7	30	26	-
增 減 率(%)	12.7	0.4	1.4	2.1	-
前期(平成19年11月期)実績	34,071	1,518	1,946	1,095	118円35銭

5 業績予想修正の理由

当中間期の単体の業績は、当社産業機械部門において大手自動車関連ユーザーを中心に国内販売が堅調に推移したほか、タイや昨年9月に現地法人を設立したインドからの受注が順調に伸びました。また、建設機械部門においても民間工事の需要が拡大したことから建設用クレーンや基礎機械の新車販売が伸びるとともに中古建設機械の輸出も好調に推移したため、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれもが年初計画を上回る見通しであります。

当中間期の連結の業績は、米国においてサブプライム問題を発端とする景気の減速や円高などのマイナス要因がありましたが、上記単体の好調要因に加えてアジアにおける設備投資が増加した結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれもが年初計画より増加する見通しであります。

下期においては、上期の好業績により通期の単体の業績は年初計画を上回る見通しでありますが、 通期の連結の業績は、資源価格の高騰や米国の景気後退など先行き不透明感が増していることから 若干下降する見通しであります。

以上

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。